

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

| 1-1 建物概要 |                       | 1-2 外観 |                 |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | (仮称)海浜幕張駅前ホテル計画       | 階数     | 地上14F           |
| 建設地      | 千葉県千葉市美浜区ひび野二丁目       | 構造     | S造              |
| 用途地域     | 商業地域、防火地域             | 平均居住人員 | 1,100 人         |
| 地域区分     | 6地域                   | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 飲食店,ホテル,              | 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 竣工年      | 2026年2月 予定            | 評価の実施日 | 2024年4月23日      |
| 敷地面積     | 2,885 m <sup>2</sup>  | 作成者    | 新日本建設㈱ 宇津見 聡    |
| 建築面積     | 1,462 m <sup>2</sup>  | 確認日    | 2024年4月23日      |
| 延床面積     | 11,709 m <sup>2</sup> | 確認者    | 新日本建設㈱ 宇津見 聡    |

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

| 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)   | 2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)  | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)  |
|---|---|---|
| <p><b>BEE = 1.1</b></p> <p>★ ★ ★ ★ ★ A: ★ ★ ★ ★ B: ★ ★ ★ C: ★</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p> | <p>標準計算</p> <p>30%: ★ ★ ★ ★ ★ 60%: ★ ★ ★ ★ 80%: ★ ★ ★ 100%: ★ ★ 100%超: ★</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p> | <p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p> |

| 2-4 中項目の評価(バーチャート)                           |   |  |
|--|---|--|
| <p><b>Q 環境品質</b></p> <p>Qのスコア = 2.6</p>      |   |  |
| <p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア = 3.0</p>    | <p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア = 2.6</p>     | <p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア = 2.1</p> |
| <p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p>LRのスコア = 3.5</p> |   |  |
| <p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア = 4.1</p> | <p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア = 2.8</p> | <p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア = 3.3</p>   |

| 3 設計上の配慮事項  |   |  |
|---|---|--|
| <p><b>総合</b></p> <p>海浜幕張駅周辺には幕張メッセやマリスタジアム、大型商業施設などが建ち並び、全国・全世界から多くの人々が日々訪れる。また、大規模なオフィスビルやタワーマンションも点在する海浜幕張は、職場であり遊び場であり、宿泊する場や住まいでもある都市です。仕事や娯楽など多様な目的を持った人々が混在する「都市」を紡いで織り込むことでホテルを訪れる全ての人の思いを包み込むデザインとした。</p> | <p><b>その他</b></p> <p>0</p>  |  |
| <p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>遮音性の高いサッシを採用し、高い昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。</p>   | <p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>客室天井高や階高にゆとりを持たせた設計とし、空調・給排水配管の更新対策にも配慮している。</p> | <p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>特になし</p>                           |
| <p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>BPI=0.91、BEI=0.68としている。</p>  | <p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>OAフロアを採用している。</p>                             | <p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率71%としている。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される